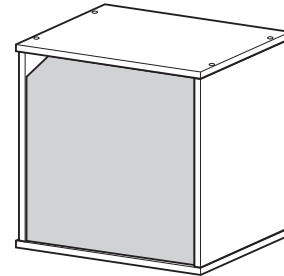




アクセントカラーキュービック ドア付

取扱説明書

ACQB-35D④



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みにになり、正しくお使いください。
また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

■必要工具
⊕ドライバー



注意

インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

安全上の注意

安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

室内用収納用品

左記以外の用途には使用しないでください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- お子さまがいたずらしないよう注意してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 耐荷重以上のものを入れたり、載せたりしないでください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 移動する際は、載せてあるものをすべておろしてください。
- この説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床の傷、へこみなどの原因となりますので十分注意してください。
- 扉を閉める際に指などをはさまないように注意してください。
- 必ず耐荷重以内で使用してください。
- 一点に集中的に荷重がかからないように、できるだけ均一に置いてください。連結して使用する場合は、重いものは、下段に置いてください。
- 全体のぐらつきが多い場合は収納量を減らしてください。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
 - ・ 直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
 - ・ 水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
 - ・ 濡れたものや熱いものを置かないでください。
 - ・ シール、テープなどを貼らないでください。
- 使用しているうちにねじにゆるみが発生し、ぐらつくことがありますので定期的に締め直してください。

- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- 接着剤に含まれる有機溶剤やホルムアルデヒドが残っていることがあります。においが気になるときは、換気をよくして使用してください。
- 連結して使用する場合は、地震などによる転倒防止のため、壁などに固定金具や固定部材で固定することをおすすめします。

お手入れの方法

長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤分が残らないように固くしぼった布などで水拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

仕様

品 番	ACQB-35D④
製品サイズ(約)	幅349×奥行290×高さ344mm
耐 荷 重(約)	全体:20kg
主 要 材 質	プリント紙化粧パーティクルボード

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

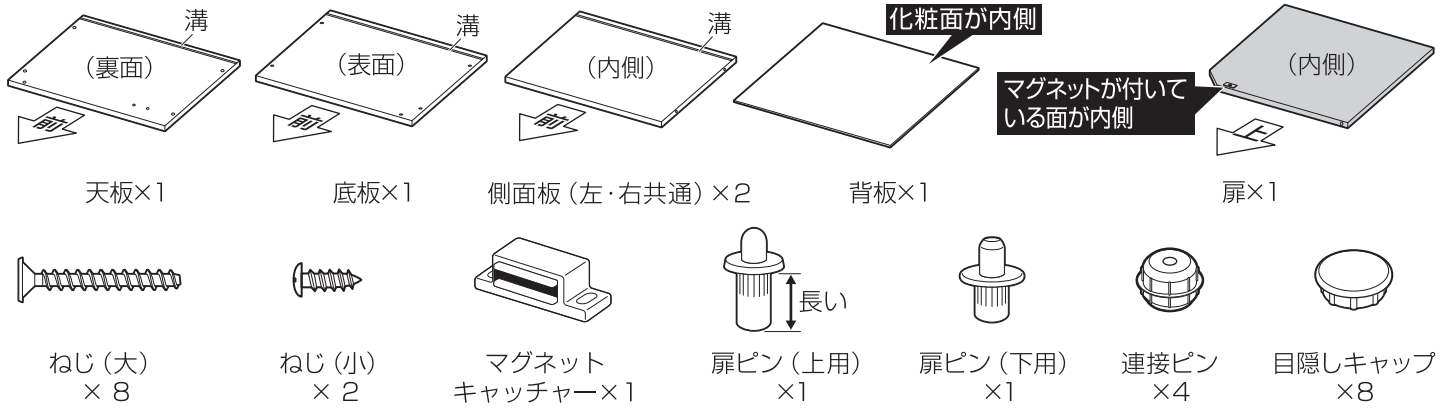
0120-211-299

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください

パーツリスト



組み立てかた

- 組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
- 設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。
- 部品は正確に取り付けてください。

1 マグネットキャッチャーを天板に取り付ける

ねじ (小) × 2

天板 (裏面)
溝
マグネットキャッチャー

2 底板に側面板を取り付ける

ねじ (大) × 4

側面板 × 2
底板
溝

3 背板を取り付ける

背板
化粧面が内側

4 天板を取り付ける

ねじ (大) × 4

天板
溝

5 扉を取り付ける

※マグネットキャッチャーはマグネットキャッチャー受けと少しずれた位置に付きますが、磁力調整のためです、問題ありません。

扉の取り付けかた
扉ピン(下用)を下の穴に入れて、扉ピン(上用)を押しながら上の穴に入れます。

扉ピン(上用)
扉
扉ピン(下用)
溝
マグネットが付いている面が内側

6 目隠しキャップを取り付けて完成(8ヶ所)

目隠しキャップ × 8

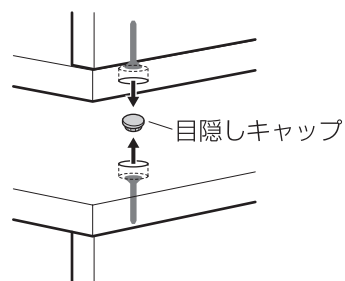
組み立て完了後、確認してください

- ・ねじなどがしっかり締まっていること。
- ・製品全体にゆがみがないこと。

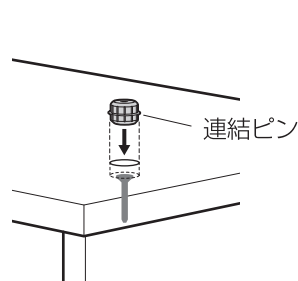
連結ピンの使いかた

ボックスを上下に重ねて使用する場合に使います。ボックス同士の連結は3段までとしてください。

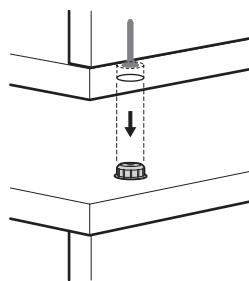
1 天板、底板それぞれの目隠しキャップを取ってください。(8ヶ所)



2 天板の穴に連結ピンを奥までしっかりと差し込みます。(4ヶ所)



3 連結ピンの取り付け位置に底板の穴を合わせ、はめ込みます。



⚠ 注意

上下に重ねて使用する場合は必ず連結ピンを使用してください。

落下してけがをしたり、物的損害が発生するおそれがあります。